

(13) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社経営状況報告書

法人の概要

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
- 2 目 的 天神川流域下水道の維持管理に関する業務を行うとともに、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究等を行い、県及び流域関連市町が実施する下水道事業に協力し、もって地域住民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成24年3月19日
(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立許可年月日
昭和57年8月1日)
- 4 設立登記年月日 平成24年4月1日
(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立登記年月日
昭和57年8月7日)
- 5 基本財産 出えん金 3,000,000円
鳥取県出えん金 1,500,000円
倉吉市出えん金 500,000円
湯梨浜町出えん金 500,000円
三朝町出えん金 250,000円
北栄町出えん金 250,000円
- 6 役員等 評議員 5人 理事 7人 監事 2人
評議員 青木 由紀子 (湯梨浜町商工会女性部長)
〃 岩本 善文 (倉吉商工会議所専務理事)
〃 広田 一恭 (倉吉市長)
〃 清水 文人 (学校法人藤田学院鳥取短期大学教授)
〃 中村 吉孝 (鳥取県生活環境部自然共生社会局長)
理事長 田村 満男
常務理事 田村 満男 (理事長兼務)
理事 宮脇 正道 (湯梨浜町長)

理事 松浦弘幸（三朝町長）
〃 手嶋俊樹（北栄町長）
〃 加藤礼二（倉吉市副市長）
〃 中江亜紀子（有限会社中江組代表取締役）
〃 谷口正一（鳥取県生活環境部自然共生社会局水環境保全課長）

監事 木天昌明（税理士）
〃 植原徳彦（行政書士）

7 職員 8人

8 事務所 東伯郡湯梨浜町はわい長瀬1517番地

令和4年度事業実施状況

天神川流域下水道の維持管理及び運營業務を行う指定管理者（令和元年度～令和5年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理を適正かつ効率的に行い、良好で安定的な下水処理の確保を図るとともに、設備機器類等の下水道施設の適切な維持管理を行うことで、持続的な下水道機能の確保に取り組んだ。

また、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を実施するとともに、中期経営計画に基づき継続的な業務改善と効果的・効率的な管理運営の推進並びに一層の経費の縮減に取り組んだ。

令和4年度決算額は、483,304千円であり、主要機器の分解整備工事など予防保全的修繕を着実に実施するとともに、効率的な管理運営により経費の縮減に取り組んだが、電力料金の燃料費調整単価が原油価格高騰により大幅に増加したことで、前年度比6%の増加となった。

1 天神川流域下水道の管理運營業務

(1) 天神浄化センターの運転管理、水質管理業務等

天神浄化センターの流入汚水に対して、水処理施設、汚泥処理施設等の運転管理を適正かつ効率的に行い、常に良好な状況を保持し下水道機能の確保を図るとともに、年間を通じて良好で安定的な下水処理を実施することができた。脱水汚泥は全量処分委託により堆肥化等として有効活用を図った。

流入汚水量は年間6,949千 m^3 （日平均19,039 m^3 ）で前年度比5.3%の減少となり、脱水汚泥は年間4,547トで前年度比0.5%の増加、使用電力量は4,198千kwhで前年度比4.1%の減少とすることができた。

また、汚水処理原価（指定管理料÷年間流入汚水量）は、69.5円/ m^3 となった。

[水処理及び汚泥処理の状況]

①流入汚水量

年間計画流入水量7,231,000 m^3 （日平均19,811 m^3 ）に対し、実績は次のとおりであった。

日平均	19,039 m^3
年間合計	6,949,404 m^3

②水処理の状況

放流水の水質基準を十分に達成した。

項目	流入下水	放流水	放流水の水質基準 (下水道法)	水質 除去率
BOD (mg/l)	120	5.2	15	96%
浮遊物質(SS) (mg/l)	100	2.0	40	98%

※BOD=生物化学的酸素要求量

(2) 施設の維持管理業務

天神浄化センターの日々の運転操作・監視及び保守点検を外部委託で実施するとともに、設備機器類の定期的な点検調整、また2号送風機及び3、4号返送汚泥ポンプ等の計画的な分解整備（オーバーホール）、そして3号主ポンプVVVF制御装置修繕工事等の予防保全的修繕を実施し、故障・事故の未然防止と低減及び施設の機能保全に取り組んだ。

また、若土ポンプ場施設や市町処理分区の流量計測設備（23箇所）等の維持管理、幹線管路施設の巡回点検等を実施した。

(3) 緊急時の対応

天神川流域下水道非常時対応要綱に基づき、公社の運用方法等（緊急非常時対応基準書、異常大量流入水時の運転計画）を定め、水害、地震・津波、異常流入水、下水道施設の破損等に備えている。

11月には総合訓練を実施して、令和3年7月に発生した豪雨による異常大量流入水を教訓に、災害本部の立ち上げ、着水井ゲート操作、緊急点検等を実施した。

また、新型コロナウイルス感染症について、認証事業所としてマニュアルを作成し、陽性者が発生しても業務に支障がないように備えた。

2 下水道の水質分析等

令和4年度水質試験計画により、天神浄化センターへ流入する汚水、放流水、市町処理分区の接続点の汚水及び汚泥等の分析を公社が直営で実施し、ダイレクトに現場へ反映させることにより、適正かつ効率的な運転管理に取り組んだ。

水質試験回数	407 回
検体数	20,297 検体

3 下水道技術者の養成

公社職員の資質及び技術の向上を図るため、技術研修会、講習会等に参加した。

4 下水道技術の調査研究

下水道研究発表会（ライブ配信）に参加して、下水道に関連する技術や下水道経営などに関する日頃の研究成果や実務事例等を聴講した。また、毎月1回水処理・汚泥処理等検討会として、適切かつ効率的な管理運営、業務改善等の調査研究を実施した。

5 下水道知識の普及及び啓発等

(1) ホームページでの公社の財務状況、水処理状況、催しの案内等を随時掲載した。

(2) 下水道についての理解と普及促進を図るための取組

ア 水の冒険隊への協力

今年度は、鳥取県持続可能な地下水利用協議会が「水の冒険隊」として、県内の小学生親子を対象に、東郷ダム、倉吉市水道局円谷町水源池の見学、天神浄化センターの施設見学、水質検査の体験等を企画され、一部の活動については当公社も共催で実施した。

イ 第34回下水道コンクール

中部地区の小学校4年生の児童を対象に下水道に関する絵画・ポスター、習字、標語の作品を募集した。審査会を実施して、優秀作品には表彰状を授与した。

入賞作品：ポスター8点、習字14点、標語10点

応募作品数：令和3年度より31%の減少

	絵画・ポスター	習字	標語	計
令和4年度作品数	48	362	209	619
令和3年度作品数	83	643	177	903

開催日：審査会9月13日、表彰式10月2日（倉吉未来中心）、
展示会10月2日～5日（倉吉未来中心）

ウ 下水道ふれあい教室

職員が小学校に出向き、環境教育の一環として下水道の仕組み、微生物の説明、顕微鏡観察、水質検査等の出前授業を企画した。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止

エ 施設見学者への対応

新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、見学者の受入れを行った。

天神浄化センターへの見学者数は、次のとおり。

年度	総数	内 訳		
		一般	学校関係	官公庁職員
令和4年度	570人	0人	570人	0人
令和3年度	582人	7人	575人	0人

6 中期経営計画の取組

令和4年度が2年目となる中期経営計画2021（令和3年度～令和6年度）に基づき、適正かつ効果的な下水処理施設の維持管理を行うとともに、継続的な業務内容の点検・見直し及び管理運営の一層の効率化に取り組んだ。

(1) 水処理・汚泥処理等検討会の開催と継続的な業務改善

毎月1回のペースで水処理・汚泥処理等検討会を開催し、業務の充実・改善と適切かつ効率的な管理運営の調査検討に取り組んだ。

- 4月 スクリュープレス脱水機による脱水状況について
- 5月 令和3年度省エネ対策とその効果について
- 6月 水処理棟給排気ファンの運転方法による消費電力量削減について
- 7月 省エネ対策と処理水質について
- 8月 送風機の運転方法改善による省エネルギーに関する検討について
- 9月 令和3年度維持管理実績概要と今後の取組みについて
- 10月 反応タンクへの送風量設定方法について
- 11月 総合訓練内容について
- 12月 令和5年度実行予算について
- 2月 県内処理場の維持管理状況等について
- 2月 令和4年度のTEASⅡの取組みについて
- 3月 太陽光発電視察について

(2) 管理運営の効率化

放流水質の維持並びに施設の機能・性能の確保との両立を前提として、水質の維持と省エネ運転等で一層の効率化に取り組んだ。

7 その他

(1) 全国下水道公社連絡協議会、中国四国下水道公社連絡協議会に出席した。

- ・第44回全国下水道公社連絡協議会（主催：岩手県下水道公社）
- ・第28回中国四国下水道公社連絡協議会（主催：岡山県下水道公社）

(2) 県等の監査、検査

- ・財政援助団体本監査（県監査委員） 指摘事項なし
- ・労働衛生、労務管理等に関する立入検査（倉吉労働基準監督署） 指摘事項なし
- ・行政監察・法人指導課立入検査（鳥取県） 指摘事項なし

(3) 雨天時浸入水に係る関連公共下水道との意見交換会

梅雨時期の豪雨が予想されることから、令和3年度の状況を踏まえ、現状や危機管理体制等について、県・関連公共市町との意見交換を実施した。

(4) 人権教育の研修会

次のとおり研修会への参加、職場内研修を開催した。

- ・職場内人権推進員研修 オンラインによる講演を受講

- ・ 職場内人権研修会 2月24日

(5) 防災訓練等

消防計画に基づき、火災訓練のほか、総合訓練として地震、その他の災害を想定した訓練を実施した。

- ・ 消防訓練 6月29日
- ・ 総合訓練 11月22日（異常流入水の対応の総合訓練で処理場班本部の立ち上げなどを行った。）

(6) 維持管理年報の作成

令和3年度維持管理年報を令和4年8月に作成した。

正味財産増減計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
	円	円	円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	60	60	0	
基本財産受取利息	60	60	0	
事業収益	483,303,909	454,572,993	28,730,916	
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	483,303,909	454,572,993	28,730,916	
雑収益	249	164	85	
受取利息	249	164	85	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	483,304,218	454,573,217	28,731,001	
(2) 経常費用				
事業費	465,901,824	439,616,649	26,285,175	
役員報酬	3,816,925	3,874,140	△ 57,215	
給料手当	28,172,748	28,280,819	△ 108,071	
退職給付掛金	1,692,000	1,692,000	0	
福利厚生費	5,261,753	5,195,881	65,872	
会議費	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
通信運搬費	352,793	352,654	139	
消耗品費	18,378,812	20,056,265	△ 1,677,453	
修繕費	62,328,425	85,609,189	△ 23,280,764	
印刷製本費	457,820	472,516	△ 14,696	
燃料費	611,133	548,302	62,831	
光熱水料費	113,393,073	77,290,818	36,102,255	
賃借料	1,262,403	1,536,847	△ 274,444	
保険料	52,790	50,570	2,220	
手数料	140,512	111,636	28,876	
租税公課	4,781,813	4,766,901	14,912	
委託費	225,112,724	209,745,311	15,367,413	
負担金	86,100	32,800	53,300	
管理費	16,730,320	14,803,709	1,926,611	
役員報酬	954,231	968,536	△ 14,305	
給料手当	7,453,254	7,277,221	176,033	
退職給付掛金	468,000	468,000	0	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
	円	円	円	
福利厚生費	1,387,895	1,329,981	57,914	
会議費	5,160	0	5,160	
旅費交通費	303,330	24,320	279,010	
通信運搬費	260,687	268,231	△ 7,544	
消耗品費	962,921	709,722	253,199	
修繕費	75,627	57,464	18,163	
印刷製本費	100,925	70,455	30,470	
燃料費	201,118	167,892	33,226	
光熱水料費	957,957	667,108	290,849	
賃借料	563,953	372,850	191,103	
保険料	59,760	59,270	490	
諸謝金	241,400	232,600	8,800	
手数料	144,115	132,400	11,715	
租税公課	343,887	328,099	15,788	
委託費	2,062,940	1,511,400	551,540	
負担金	183,160	158,160	25,000	
経常費用計	482,632,144	454,420,358	28,211,786	
当期経常増減額	672,074	152,859	519,215	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	672,074	152,859	519,215	
一般正味財産期首残高	1,508,814	1,355,955	152,859	
一般正味財産期末残高	2,180,888	1,508,814	672,074	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0	
III 正味財産期末残高	5,180,888	4,508,814	672,074	

正味財産増減計算書内訳表

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	円	円	円	円
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	60			60
基本財産受取利息	60			60
事業収益	466,456,146	16,847,763		483,303,909
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	466,456,146	16,847,763		483,303,909
雑収益	249			249
受取利息	249			249
雑収益	0			0
経常収益計	466,456,455	16,847,763	0	483,304,218
(2) 経常費用				
事業費	465,901,824			465,901,824
役員報酬	3,816,925			3,816,925
給料手当	28,172,748			28,172,748
退職給付掛金	1,692,000			1,692,000
福利厚生費	5,261,753			5,261,753
会議費	0			0
旅費交通費	0			0
通信運搬費	352,793			352,793
消耗品費	18,378,812			18,378,812
修繕費	62,328,425			62,328,425
印刷製本費	457,820			457,820
燃料費	611,133			611,133
光熱水料費	113,393,073			113,393,073
賃借料	1,262,403			1,262,403
保険料	52,790			52,790
手数料	140,512			140,512
租税公課	4,781,813			4,781,813
委託費	225,112,724			225,112,724
負担金	86,100			86,100
管理費		16,730,320		16,730,320
役員報酬		954,231		954,231
給料手当		7,453,254		7,453,254
退職給付掛金		468,000		468,000

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	円	円	円	円
福利厚生費		1,387,895		1,387,895
会議費		5,160		5,160
旅費交通費		303,330		303,330
通信運搬費		260,687		260,687
消耗品費		962,921		962,921
修繕費		75,627		75,627
印刷製本費		100,925		100,925
燃料費		201,118		201,118
光熱水料費		957,957		957,957
賃借料		563,953		563,953
保険料		59,760		59,760
諸謝金		241,400		241,400
手数料		144,115		144,115
租税公課		343,887		343,887
委託費		2,062,940		2,062,940
負担金		183,160		183,160
経常費用計	465,901,824	16,730,320	0	482,632,144
当期経常増減額	554,631	117,443	0	672,074
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	554,631	117,443	0	672,074
一般正味財産期首残高	1,487,619	21,195	0	1,508,814
一般正味財産期末残高	2,042,250	138,638	0	2,180,888
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	0	0	3,000,000
III 正味財産期末残高	5,042,250	138,638	0	5,180,888

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金	36,319,921	31,281,341	5,038,580
未収金	0	0	0
貯蔵品	2,180,888	1,508,814	672,074
流動資産合計	38,500,809	32,790,155	5,710,654
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
固定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	41,500,809	35,790,155	5,710,654
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	176,724	367,230	△ 190,506
仮受金	0	0	0
未払金	36,143,197	30,914,111	5,229,086
流動負債合計	36,319,921	31,281,341	5,038,580
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	36,319,921	31,281,341	5,038,580
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
2 一般正味財産			
正味財産合計	5,180,888	4,508,814	672,074
負債及び正味財産合計	41,500,809	35,790,155	5,710,654

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事業又は状況はない。
2. 重要な会計方針
 - (1) 平成20年公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会）を適用している。
 - (2) 棚卸資産（貯蔵品）について
棚卸資産の評価基準は取得原価基準とし、評価方法は最終仕入原価法を採用している。
 - (3) 消費税の会計処理について
消費税の会計処理は、税込方式によっている。
3. 会計方針の変更
該当なし
4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産 定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	—
合 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	0

6. 担保に供している資産
該当なし
7. 固定資産の所得価額、減価償却累計額及び当期末残高
該当なし
8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当なし
9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務
該当なし
10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし
11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当なし

(13) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社

12. 指定正味財産からの一般正味財産への振替額の内訳
該当なし

13. 関連当事者との取引の内容
該当なし

14. 重要な後発事象
該当なし

15. その他資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

(単位：円)

品名	当期末残高
業務用薬品	973,859
材料	50,358
自家用発電設備燃料	1,018,033
切手、収入印紙	138,638
合計	2,180,888

財 産 目 録

(令和5年3月31日現在)

貸借対象表科目	場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)			円
現金預金	普通預金 山陰合同銀行 羽合支店	運転資金として	36,319,921
貯蔵品	業務用薬品（高分子凝集剤、 次亜塩素酸ソーダ、苛性ソーダ他） 材料（ろ過砂） A重油 切手、収入印紙	運転管理等に伴う年度末の在庫として 砂ろ過設備の材料として 自家用発電設備燃料として 郵送、契約書用として	973,859 50,358 1,018,033 138,638
流動資産合計			38,500,809
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	定期預金 山陰合同銀行羽合支店	公益目的保有財産で運用益を公益目的事業の財源として使用している	3,000,000
その他固定資産			0
固定資産合計			3,000,000
資産合計			41,500,809
(流動負債)			
未払金	鳥取県に対する未払額他	鳥取県に対する指定管理料返納金未払他	36,143,197
預り金	源泉徴収所得税他	源泉所得税、住民税預り金	176,724
流動負債合計			36,319,921
(固定負債)			0
固定負債合計			0
負債合計			36,319,921
正味財産			5,180,888

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載のとおりである。

令和5年度事業計画

I 基本方針

当社は、天神川流域下水道の維持管理及び運營業務を行う指定管理者（令和元年度～5年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理、設備管理、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を適切に遂行するとともに、継続的な業務改善と更なる事業経営の効率化に取り組むことにより、下水道事業を取り巻く社会情勢の変化や地域のニーズ等に対応できる公益法人を目指していく。

現指定管理期間の5年目となる令和5年度は、次の管理運営の方針に基づくとともに、引き続き中期経営計画の推進により、水処理施設、汚泥処理施設等の運転管理、水質管理と施設の維持管理をより適切かつ効率的に遂行する。

【管理運営方針】

- (1) 良好かつ効果的な下水処理を確保すること
- (2) 適切な維持管理による持続的な下水道機能を確保すること
- (3) 継続的な業務改善と管理運営の効率化を進めること
- (4) 下水道技術の普及及び啓発等の充実に努めること
- (5) 下水道技術の継承と技術力向上を図ること
- (6) 連携協力と信頼性を確保すること

II 事業内容

1. 天神川流域下水道の管理運營業務【486,894千円】

(1) 天神浄化センター運転管理、水質管理等業務

- 天神浄化センターの水処理施設、汚泥処理施設の運転管理、水質管理を効率的かつ継続的に実施し、常に良好で安定した水質の確保及び汚泥処理の最適化と有効活用を推進する。
- 流入汚水の量的質的变化や水質試験結果等をダイレクトに反映させながら、水処理悪化等に対する迅速な対応と放流水質管理目標の確保とともに、下水道機能の維持を図る。
- 日々の運転操作・監視及び保守点検等は外部委託で実施しており、相互連携の下で天神浄化センターの適切な運転管理及び水質管理に取り組む。

・計画流入汚水量

令和5年度	令和4年度実績
7,098,204m ³ （日平均19,394m ³ ）	6,949,404m ³ （日平均19,039m ³ ）

・放流水質管理目標（年間最大値）

BOD(mg/ℓ)	SS(mg/ℓ)	大腸菌群数(個/cm ³)
10未満	10未満	30未満

・計画汚泥処理量

令和5年度	令和4年度実績
4,800t	4,547.0t

(2) 施設の維持管理業務

- 設備機器類に精通した専門技術者の蓄積されたノウハウ等を活かし、定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕工事、そして計画的な分解整備（オーバーホール）等による予防保全的修繕を実施するなど、機能保全措置により故障の未然防止と施設の長寿命化を図る。
- エネルギー管理の徹底、脱水汚泥発生量の削減、部品交換・修繕工事等の合理化・効率化など継続的な業務改善と維持管理の効率化に取り組む。

・維持管理施設

対象施設	<ul style="list-style-type: none">・天神浄化センター（処理能力 32,000m³/日）・幹線管渠（28.6 km）及び放流管渠・処理分区流量計測設備（23 箇所）・若土ポンプ場
------	---

・予防保全的修繕【35,330 千円】

①主要機器類の分解整備

2号スクリーンプレス脱水機、水中エアレータ

②臨時的修繕

3, 4号返送汚泥ポンプ、3号主ポンプVVVF制御装置、沈砂池サイクロン、汚泥サービスタンク

・事後対応修繕【3,777 千円】

修繕費枠予算

2. 下水道の水質分析等【2,000 千円】

○処理場へ流入する汚水、放流水、各処理分区接続点の汚水及び汚泥等の水質管理を行い、ダイレクトに現場での維持管理へ反映させることで、良好で安定した水質の確保を図る。

3. 下水道技術者の養成【335 千円】

○下水道事業に係る職員の技術研修会を鳥取県及び下水道事業団等と連携して実施する。
○下水道に関する知識、技術の習得、向上を図るため、各種団体が実施する研修会等への積極的な参加等により職員のスキルアップと現場実務への反映を図る。

4. 下水道技術の調査研究【152 千円】

○下水道維持管理コストの縮減、水処理、汚泥処理技術等の改善策、他の処理場の維持管理状況などについて、調査研究を実施する。
○8月に開催される下水道研究発表会（日本下水道協会主催）に参加するなど、下水道技術の情報収集を実施する。

5. 下水道知識の普及及び啓発等【1,807 千円】

○小学生、周辺住民、一般見学者等に対して、下水道の役割、効果、下水処理場の仕組み等の説明と施設見学を実施する。
○ホームページを充実するために内容をリニューアルして、分かりやすく、見やすい下水道に関する情報を掲載して、啓発を実施する。
○水の循環をテーマとし、下水道が環境に果たす役割の理解を深めることを目的として、ダム、水道水源地、天神浄化センターを見学する「ぐるり水の探検」を開催する。
○「下水道コンクール」として、中部地区の小学校4年生の児童を対象に、絵画・ポスター、習字、標語の作品を募集し、審査会を経て優秀作品を表彰する。
○「下水道ふれあい教室」として、職員が小学校へ出向いて、環境教育の一環として下水道の仕組み、水質検査等の授業を実施する。
○令和6年1月には供用開始してから40年となり、下水道の管理者としての広報活動を積極的に行う。天神浄化センターの愛称・ロゴマーク募集する。

6. その他公社の目的を達成するために必要な事業

収 支 予 算 書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1	1	0	
基本財産受取利息	1	1	0	
事業収益	491,205	486,047	5,158	
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	491,205	486,047	5,158	
雑収益	3	3	0	
受取利息	3	3	0	
経常収益計	491,209	486,051	5,158	
(2) 経常費用				
事業費	475,410	468,613	6,797	
役員報酬	4,124	3,924	200	
給料手当	29,635	28,436	1,199	
退職給付掛金	1,872	1,692	180	
福利厚生費	5,667	5,536	131	
会議費	10	10	0	
旅費交通費	269	429	△ 160	
通信運搬費	357	357	0	
消耗品費	20,844	18,326	2,518	
修繕費	37,671	66,966	△ 29,295	
印刷製本費	368	765	△ 397	
燃料費	1,514	1,280	234	
光熱水料費	149,102	105,699	43,403	
賃借料	1,457	1,444	13	
保険料	73	73	0	
手数料	154	128	26	
租税公課	5,238	5,034	204	
委託費	216,837	228,296	△ 11,459	
負担金	218	218	0	
管理費	15,799	17,438	△ 1,639	
役員報酬	1,031	981	50	
給料手当	6,335	7,543	△ 1,208	
退職給付掛金	288	468	△ 180	

(13) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
福利厚生費	1,263	1,457	△ 194	
会議費	10	10	0	
旅費交通費	468	405	63	
通信運搬費	309	309	0	
消耗品費	884	907	△ 23	
修繕費	170	110	60	
印刷製本費	111	111	0	
燃料費	222	210	12	
光熱水料費	1,233	894	339	
賃借料	703	677	26	
保険料	64	64	0	
諸謝金	397	313	84	
手数料	162	162	0	
租税公課	334	330	4	
委託費	1,512	2,254	△ 742	
負担金	303	233	70	
経常費用計	491,209	486,051	5,158	
当期経常増減額	0	0	0	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	1,300	1,100	200	貯蔵品期首残高
一般正味財産期末残高	1,300	1,100	200	貯蔵品期末残高
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000	3,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000	3,000	0	
III 正味財産期末残高	4,300	4,100	200	

収支予算書内訳表

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1			1
基本財産受取利息	1			1
事業収益	475,406	15,799		491,205
天神川流域下水道維	475,406	15,799		491,205
持管理受託事業収益				
雑収益	3			3
受取利息	3			3
経常収益計	475,410	15,799	0	491,209
(2) 経常費用				
事業費	475,410			475,410
役員報酬	4,124			4,124
給料手当	29,635			29,635
退職給付掛金	1,872			1,872
福利厚生費	5,667			5,667
会議費	10			10
旅費交通費	269			269
通信運搬費	357			357
消耗品費	20,844			20,844
修繕費	37,671			37,671
印刷製本費	368			368
燃料費	1,514			1,514
光熱水料費	149,102			149,102
賃借料	1,457			1,457
保険料	73			73
手数料	154			154
租税公課	5,238			5,238
委託費	216,837			216,837
負担金	218			218
管理費		15,799		15,799
役員報酬		1,031		1,031
給料手当		6,335		6,335
退職給付掛金		288		288

(13) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
福利厚生費		1,263		1,263
会議費		10		10
旅費交通費		468		468
通信運搬費		309		309
消耗品費		884		884
修繕費		170		170
印刷製本費		111		111
燃料費		222		222
光熱水料費		1,233		1,233
賃借料		703		703
保険料		64		64
諸謝金		397		397
手数料		162		162
租税公課		334		334
委託費		1,512		1,512
負担金		303		303
経常費用計	475,410	15,799	0	491,209
当期経常増減額	0	0	0	0
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額				0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	1,200	100	0	1,300
一般正味財産期末残高	1,200	100	0	1,300
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	3,000	0	3,000
指定正味財産期末残高	0	3,000	0	3,000
III 正味財産期末残高	1,200	3,100	0	4,300